



今日も なほ 執事

きょう

しじ

真田和史
Kazufumi Sanada







C O N T E N T S

今日もなお執事 第1話

5

今日もなお執事 第2話

31

今日もなお執事 第3話

57

夢の日々…(?) 第1話

103

夢の日々…(?) 第2話

129

夢の日々…(?) 第3話

145

あとがき

175



今日も
なお
執事



ユ
ユ

今日も執事 なま

第1話





七尾くんっ！
またご乱心をっ!!!

岬様が



またか!!!



第1話

今日執事 在場

きょう

しつじ



岬様!?
今朝は一体...

HEHEHE

何やこてんですか——っ!!!



おう
朝から
元気だな

アアアア

ズキン!!



違います!!

そんな息切らせて
走ってくる程
オレが恋しかったか
七尾よ

「……あの
何故ライオンが
ここに……？」

「昨日 視察に行った
土地にいてな。
気に入ったから
オレの手で調教して
やろうと取り寄せたのだ」

「……危険ですから
プロの調教師に
任せて下さい……」

「……そのうち
大人しくなるのだろ」



「貴様 オレを誰だと
思っている？ 加賀一族の
当主ぞ。オレに
不可能は無い」

「ミーちゃん
可愛い♡」

「ミーちゃんなら
出来るよ♡」

「お言葉ですが獣に
富と権力は通用
しません!!」

「よーし 七尾!!
縄を引け!!」

「嫌です!!」



「やだー
七ちゃん
怒ってるー」

「そこのアホ共も
煽るな!!
おまえ等まとめて
喰われちまえ!!」

「……小松さん……
後はなんとか
しますから
戻って下さい……」

「うん……
頼むよ」





——…ふむ



前々から申し上げて
ますが何事も
思いつきで行動
するのは…

七尾 お茶

ハァ



思ったより
楽しくないな

やっと氣付け
頂けまむたか



茶が飲みたい
持つてこい。

ジャズミ
笑フーロ
玉露

それから人の話を
最後まで聞けえ
っ!!!

アッサム
一種類に
しろっ!!



その位も
出来んのか？



どうした 七尾？
早くしろ
おまえはオレの
専属執事だろ？

この屋敷に
来て約2ヶ月



元々は別の主人の下で
働いていたオレに
舞い込んだ
ご主人様1人の為だけの
「専属執事」の誘い



憧れだったし頑張りよう
……と誓ったのだが

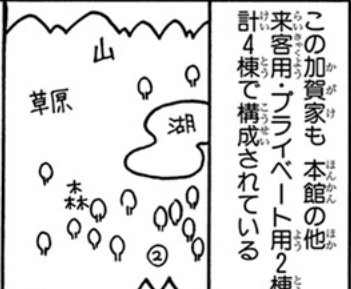
普通の執事の様な
屋敷全体の管理ではなく
主人と常に行動する。
秘書と執事を合わせた
立場に近いかもしれぬ



その仕えるご主人様が
愛人狂の上に
トラブルメーカーだった…。

しかもこれが
本物の女性ぞう
的なりの
カオス集団。

無駄に広い敷地内を
あの主人のせいで毎日
走り回っているの



この加賀家も 本館の他
来客用・プライベート用2棟の
計4棟で構成されている

体力と根性には
自信がある
のだ……

いやむしろ
奇人だからこそ
常人では及ばない感覚で
成し得ているのか!?



これだけ規模が
大きいと
働く使用人も
多い訳で



何？その
量…
また
岬様？

精が
出ます
ねえ

皆をまとめる執事長をはじめ
当主岬様以外の一族一人一人の方に
専属で仕える使用人までいる

みろさん…っ

こんな朝っばら
から大変だな

もーっ聞いて下さいよっ！
朝っばらから猛獣連れ込むの
衆人集団はべらすわあの人
めちやくちやなんですよ!!!

そうか
頑張れ

おめー岬様
専属だもんな

頑張られてる
姿はとても
美しいですよ

南様が久しぶりに
出掛けるので
準備しないと…

…そうですか…

だが全員独立して
働くため仕事はほぼ
個人ブレイ状態。

お待たせ
致しました!!

やり甲斐は
有る

七尾このライオン
放し飼いに
するぞ。

最強の
番犬だ。

しかしそれ以上の
脱力感と切なさも
有るのだが…

死人出し
てーのか!!

今すぐとは
言わん。鉄を
してからだ
無理ですってば



やってみなければ
わからんだろう

出来ません。

岬様のご命令は
どんな事でもお受けする
所存です…

しかし、岬様に危険が
及ぶものや私の力では
出来ないご命令には
お応えし兼ねます



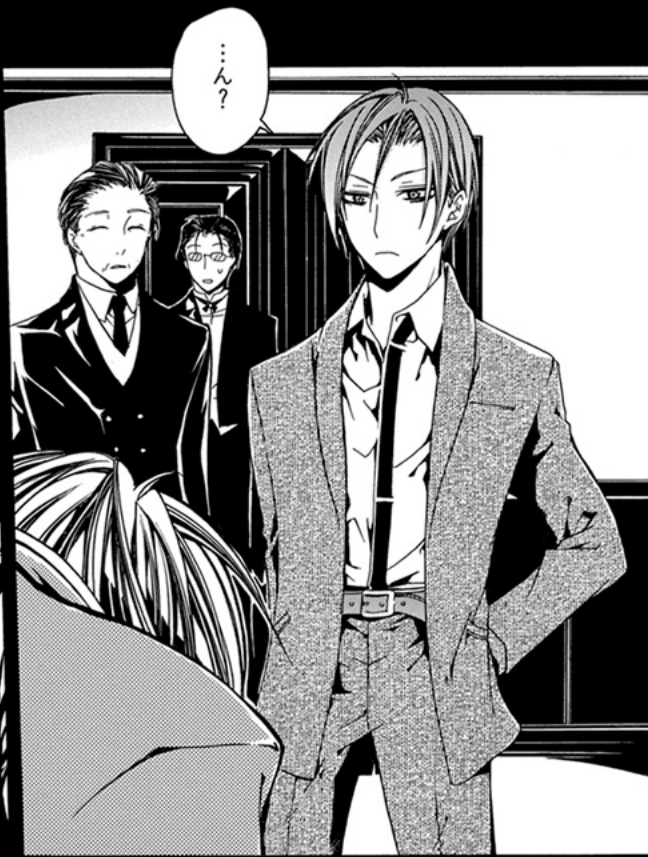
私は嘘を吐きたく
ありません

申し訳
ございません!!



待ってる間にオレ……ッ

音を止めようとして
あちらの時計を
あやまって壊して
しまいました!!



……ん?



はい!

だからおまえ
……七尾だっけ?
合格採用な。

でもっ まだ
面接してませんが

必要無い



この様な非礼……っ
なんとおわ……っ

合格



……?



オレが？

おまえがどう出るか
試してみただ



安心しろ。あの時計は
元々壊れている

えっ!?



平気で嘘を吐く

……人は



短い時間で
そいつの顔見て
一体何が解る？
己が品定めを
受けていると
意識するなら

余計に良い処
だけを出そうと
必死になる……



騙して悪かったな。
いつもこの方法で
決めているのでな

あえて一人にして
逃げ切れない状況に
なった時、そいつの
本性が出るもんだ



オレ…あ、いえ、
私…
嘘は吐きません
から…



…言ったな？



………

